

# 腎がん

## 【集学的治療の実施状況】

### ○泌尿器科

腹腔鏡手術、腹腔鏡下小切開手術、開腹手術を行っており、周囲臓器への浸潤がある場合は外科と合同で施行します。また、肺転移や脳転移による摘出適応例では、呼吸器外科や脳神経外科で手術を実施します。

分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬、サイトカイン療法（インターフェロン $\alpha$ やインターロイキン2）等の薬物療法も行っています。

### ○放射線科

画像診断と放射線治療を行います。

### ○栄養サポートチーム（NST）

医師、栄養士、看護師、薬剤師等が連携し、がんや治療の副作用による食欲低下、体重減少等に対するサポートを行っています。

### ○緩和ケアチーム

医師、認定看護師、認定薬剤師、管理栄養士、心理士、医療ソーシャルワーカーなどから構成されたチームが中心となり、患者の身体的苦痛や精神的苦痛の緩和に努めます。

### 《準じているガイドライン》

腎癌診療ガイドライン（日本泌尿器科学会）

がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

苦痛緩和のための鎮静に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

終末期癌患者に対する輸液療法のガイドライン（日本緩和医療学会）

がん患者の消化器症状の緩和に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

がん患者の呼吸症状の緩和に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

がん性痛に対するインターベンショナル治療ガイドライン（日本ペインクリニック学会）

神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン（日本ペインクリニック学会）

在宅緩和ケアガイドブック（日本緩和医療学会）